

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	孫 月鷲		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ajioka19540503@yahoo.co.jp	

【主題および達成目標】
<p>本授業は簡単な日常会話、初級文法、基本文型を学んできた学生を対象にした授業。これまで学んできた中国語の初歩知識を復習しながら、新出語彙を学習して、さらに高度中国語文を読み取る。それだけではなく、中国の文化や世情も理解できるレッスンにしたい。また、中国語文の理解力と共に応用力をアップするため短文解読力の確実性を養う。「中国語演習」と同様に、読む、書く、聞く、話す練習を重ね、総合的な力を養うことを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
中国第一、中国語第二、

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語演習

【教科書等】
教科書：範建明・沈麗華・張仕英『中国語ディリライフ・読解と会話』朝日出版
参考書：『実用日中・中日辞書』隆美出版

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

前期と同じ教科書を使い、教科書の後半に入る。ほぼ2週間で1課を終えるように考えている。一回目の授業では本文の朗読と理解を中心にし、文法の説明と翻訳を行う。正しい発音で読む練習と内容の理解を目的とする。二回目の授業は練習問題、文法の応用、会話練習を中心とする。会話力、文章の解読法、手紙の書き方など身につけるように授業を進めたいと考えている。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の問題に対する回答、小テストの成績、出席状況、期末テストなどを総合して評価する。出席率が足りないものには単位を与えない。

【オフィスアワー：授業相談】

授業の前後に教室で行う。

【学生へのメッセージ】

積極的に学習する態度が望ましい。語学の勉強には毎日の復習、予習が欠かせないものである。授業日以外の日にも予習、復習してほしい。

【その他】

なし。